

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 (ア)	評価対象 外地区数 (イ)	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地 区数のう ち、都道府 県が地域協 議会へ改善 指導を必要 とした地区 数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のう ち、達成率 80未満の地 区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
大分県	25	22	3	57.2%	3	有	3	<p>評価対象3地区のうち、3地区が達成率が100%を下回った。 要因としては、高温による収量減少や天候不順及び黄化えそ病の発生により、目標達成に至らなかった。 今後も引き続き、関係機関と連携し、面積拡大や販路開拓等を促し、販売額の増加を図る。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し57.2%であり、目標は達成されていない。 このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。 なお、大分県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、3地区である。</p> <p>〈参考：成果目標未達成地区の概要〉 【野菜】3地区 令和4年度の評価対象の3地区は、目標未達成となっている。販売額増加の目標が未達成となった3地区の主な要因は、1地区(キャベツ・にんじん)は、にんじんの品質低下による単価の減少、2地区(ピーマン)は黄化えそ病の蔓延や台風被害により収量が減少したことによる未達成である。</p>

※小数点第1位まで記載する